

アジア太平洋環境開発フォーラムセカンドステージ（APFED）活動推進費	128百万円（128百万円）
-------------------------------------	----------------

地球環境局総務課

1．事業の概要

アジア太平洋地域のより衡平で持続可能な開発モデルを提示することを目的に設立されたアジア太平洋環境開発フォーラム（APFED）は、橋本龍太郎議長の下、各国の有識者による議論を行い、2004年末に、100を超す具体的提言等からなるAPFED最終報告書や、提言実践の為の枠組等を取りまとめ、その成果は2005年3月に開催されたアジア太平洋環境と開発に関する閣僚会議等において高い評価を受けた。

この最終報告書等の取りまとめを受け、APFEDの第二段階の活動（APFED）として、持続可能な開発に関する知識や経験をアジア太平洋地域の様々な主体と共有するための「各界関係者交流メカニズム」、及び、持続可能な開発に関する政策や事業の成功例 / 失敗例についての情報収集や共同研究を行う「持続可能な開発知識イニシアティブ」の準備を進めているところ。

更に、地域内の各国・各主体で実施される持続可能な開発に向けた取組を支援するため、提言実践のための枠組みの一つである持続可能な開発の革新的アイデアの試験的实施 / 検証に向けた取組として、国際連合環境計画アジア太平洋地域事務所拠出金（別途予算）を用いて「持続可能な開発の為の革新的な取組ショーケース」促進事業を実施する。

2．事業計画

平成17年度より「各界関係者交流メカニズム」、「持続可能な開発知識イニシアティブ」の実施に向けた準備を進めているところ。

平成18年度からは、更に「持続可能な開発の為の革新的な取組ショーケース」の促進事業を進める。

3．施策の効果

アジア太平洋地域の様々な主体による、この地域に相応しい持続可能な開発の実現に向けた取組を促進する。またこれにより我が国のアジア太平洋地域における環境保全に関する国際協力の推進に貢献する。